

学道一如

発行 小樽双葉高校
生徒会通信
2024年2月26日
第64号

学生大使ワークショップ②

釣りと宿泊で小樽を売り込む

今回は学生大使ワークショップ「君がもし観光大使だったら地域の歴史・文化・魅力をどのように伝え未来へ繋げますか？」に参加しました。

日本遺産▼地域の歴史物語る



初日はアイズブレイクから始まり、日本遺産についての講義を受け、それぞれ個人ワークをし、班に分かれてグルー

プワークをするという流れでした。私は日本遺産というものはこのワークショップに申し込むまで全く知りませんでした。今回の講義によってとても面白いものだとわかりました。

日本遺産とは簡単に言うとその地域の歴史の物語が遺産として登録されるものです。そしてその歴史に関わる建物などが構成文化財として登録されます。日本遺産の面白いところはなんと、班のメンバーは札幌西高校三年生と札幌大谷大学四年生と私の三名で、お二人とは普段関わることはないのですが、とても新鮮に感じました。幸いアイズブレイクや札幌西高校の

いときけない楽しみ方ができま

小樽の構成文化財をどう活かす

個人ワークでは日本遺産登録を目指す小樽の構成文化財をどう活用して文化や魅力を伝えるかを考えました。私は「小樽再発見」シリーズの取材で聞いたことをいかそうと考えていたのですが、構成文化財と合わせようとするとなかなか思いつかず、悩んでいました。そこにフアンリテーターの高野先生や荒木さんがアドバイスをくださり、とても助けになりました。

釣りで北防波堤×ホテル群

グループワークでは個人ワークで考えたことを、四つの班に分かれて共有し、班の中で構成文化財の活用について話し合いました。私の班のメンバーは札幌西高校三年生と札幌大谷大学四年生と私の三名で、お二人とは普段関わることはないのですが、とても新鮮に感じました。幸いアイズブレイクや札幌西高校の

方のリーダーシップのおかげで、とてもスムーズに話し合いができました。また、私の班は札幌西の方の意見を軸として、釣りと宿泊に北防波堤と繁栄期の料亭・ホテル群という構成文化財を掛け合わせて活用しようという意見になりました。釣りで北防波堤とホテル群を繋げるとい

メンバーに支えられ発表

三週間ほど空いて迎えた二日目は、発表用のフリッツの作成、リハーサル（上段写真）を挟んで発表本番という流れで進みました。フリッツの作成は初日の構想通りに素早く完成させて、早々にリハーサルをしましょうと話していましたが、私が少々手間取ってしまったので、時間ギリギリで完成しました。その後のリハーサルでは発表自体は

堂々としていて良い発表だったのですが、私が誤字をしていることがわかり、修正することになりました。しかし、そのことに対して、班のメンバーは二人とも優しい声をかけてくれたので、少し安心しました。

貴重な体験、成長できた

発表本番、発表はウイングベイ一階のネイチャーチャイナバーで行いました。大勢の人が見ることのできる環境での発表は初めてだったので、緊張して硬くなってしまいました。無事に発表もできて、とても良い経験になりました。

このワークショップは新しい

体験が多く、とても良い刺激をもらいました。貴重な体験ができて嬉しかったです。事務局の日本旅行北海道小樽支店の多田様を初め、運営に携わってくださった方々にこの場を借りてお礼を申し上げます。（大塚翔太）

日本遺産：北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽 26の構成文化財

①天狗山からの眺望



②旧手宮鉄道施設



③小樽市総合博物館所蔵鉄道車両群



④旧手宮線散策路



⑤小樽港北防波堤



上記に加えて ⑥小樽港事務所みなとの資料コーナー収蔵防波堤関係資料⑦北浜地区倉庫群⑧南浜地区倉庫群⑨旧岡崎倉庫⑩旧日本郵船株式会社小樽支店及び附属倉庫群⑪日本銀行旧小樽支店⑫旧三井銀行小樽支店⑬色内銀行街⑭色内通り・堺町通りの商店⑮旧小樽商工会議所⑯JR小樽駅本屋及びプラットフォーム⑰繁栄期の料亭・ホテル建築群⑱小樽運河⑲奥沢水源地水道施設⑳運河完成後の倉庫群㉑旧北海製罐倉庫(株)事務所棟・工場・倉庫㉒小樽市総合博物館所蔵9.5ミリ動画資料㉓中村善策作風景画㉔小樽運河を守る会関係資料㉕藤森茂男作風景画㉖兵庫写真コレクション